

安八町に計画の弁当、総菜工場 バロー、関西への拠点に



協定書を交わしたバローホールディングスの小池孝幸社長
(左から2人目)と岡田立町長(同3人目)＝安八町役場

バローホールディングス(HD)の小池孝幸社長は13日、安八郡安八町中の安ハスマートインターチェンジ(IC)工業団地に建設

を予定する食品製造工場と物流センターについて、出

店攻勢をかけている関西地方への生産、出荷拠点とする考えを明らかにした。町

役場で開かれた企業立地協定の締結式で語った。

工業団地は2018年に開通した名神高速道路安ハスマートIC周辺に立地

しており、関西地方へのアクセスがいい。小池社長は

「関西での拠点整備は考えているが、どのエリア

がいいのかまだ流動的。少し時間をいただく意味でもこの拠点は必要」とし

た。

工場では米飯、弁当、総菜、冷凍パン生地を製造し、

老朽化する大垣市の物流センターと機能を入れ替え冷凍、冷蔵、氷温、定温の食

品4温度帯対応の物流センターも建設する。関西地方

への生産、出荷の拠点に加え、西濃、三重県への拠点も兼ねる。26年に着工、28

年7月に稼働を予定する。投資額は現時点では非公表。

弁当や総菜はスーパーマーケットのバロー、ドラッグストアのVドラッグ向けを想定。特にVドラッグでは弁当、総菜の販売を強化する。小池社長は「ドラッ

グストアでもスーパーと同じような総菜を置いていく」と述べた。

締結式で、小池社長は「次の一步を踏み出し、未来へ向かうための貴重な拠点になる」とあいさつし、岡田立町長と共に協定書にサインした。